

平成26年11月14日開催

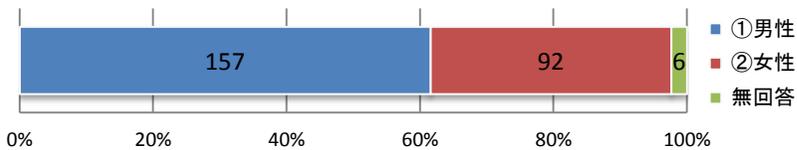
過労死等防止対策推進シンポジウム

アンケート結果

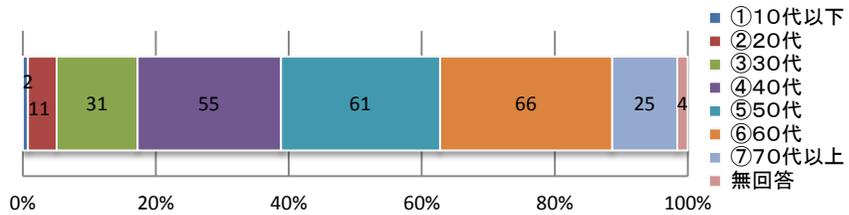
(来場者数395人、アンケート回答数255通)

ご自身について

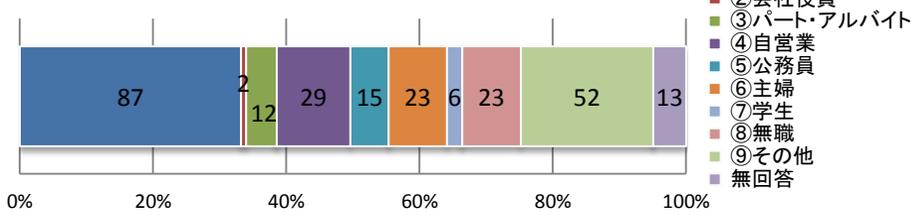
○性別



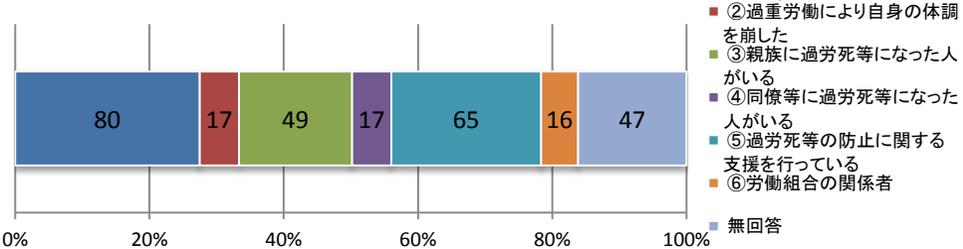
○年齢



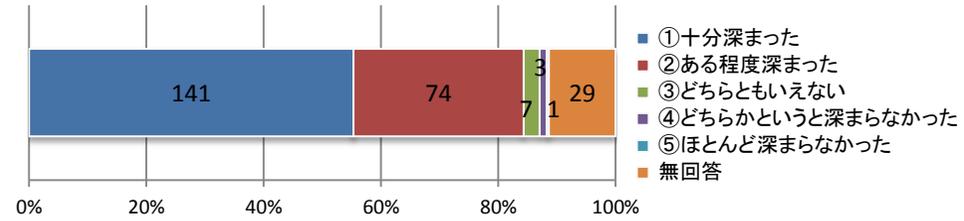
○職業(複数回答有)



○その他(複数回答有)

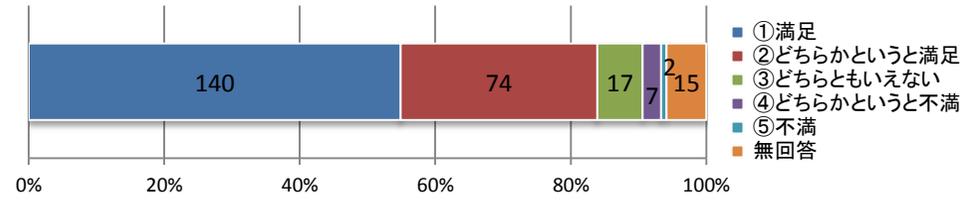


このシンポジウムに参加して過労死等への関心・理解が深まったと思いますか

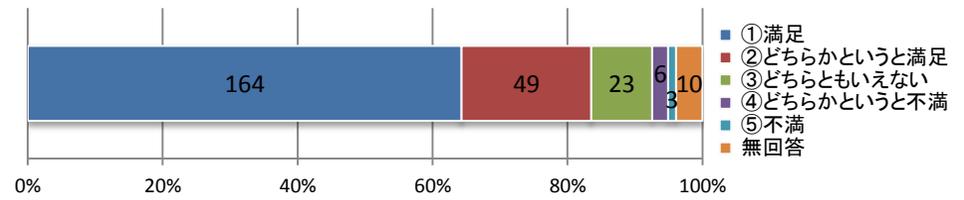


シンポジウムについて(満足度)

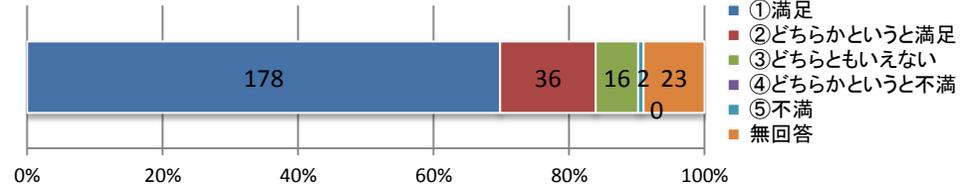
○シンポジウム全体について



○基調講演について



○体験談披露について



主なご意見

- ・「実態を調査し検証取組につなげていくこと」が重要【30代 男性 その他(NPO)】
- ・過労死を防止する具体策、現場の労働実態の把握、改善是正策をスピード感を持って【30代 男性 会社員】
- ・法の趣旨の徹底と現実の把握、検証が着実にすすむよう期待【60代 男性 会社員】
- ・国民の労働観から変えていく必要がある。【20代 男性 学生】
- ・国の責任ではあるが、最後は国民一人ひとりの自覚による。【40代 男性 会社員】
- ・社会全体で働く意味を考えてほしいと思う。【40代 女性 無職】
- ・まずは、企業や管理職の意識を変えないとだめ。【50代 女性 会社員】
- ・社会の働き方に対する意識が変わっていくよう望んでいる。【60代 女性 会社員】
- ・我が国において歴史的に積み重ねられた労働慣行や実態が容易に変えられない。戦後、教育や家庭環境の変化により人間の本質が変わっていく状態に企業や労働制度が追いつかない。【50代 男性 会社員】
- ・労働条件がこの国はおかしいと思う。労働組合が作りにくい国だとも思う。労働安全は企業にとっても労働者にとっても必要で、経済も強くなる。【50代 男性 公務員(教員)】
- ・(職場において)モノを言えない雰囲気がある。【60代 女性 その他(キャリアコンサルタント)】
- ・組合・使用者の取組が必要【30代 男性 その他(弁護士)】
- ・企業の責任者及び人事担当者の法の理解をどう進めるかが今後のポイント【60代 男性 その他】
- ・特に事業所サイドへの啓発活動の強化が重要【70代以上 男性 その他(人権問題研修講師)】
- ・学校がどのような教育をしていくのか。【40代 女性 会社員】
- ・学校教育が大切です。労働法を教えないとだめです。【50代 女性 会社員】
- ・労働法を小さい年齢からしっかりと教えて命を守り、豊かな国になっていくことを希望する。【60代 女性 主婦】
- ・行政機関、経営団体、弁護士会・社労士会等関係士業等での周知(PR)、セミナー等の展開【70代以上 男性 その他(特定社会保険労務士)】